

令和3年8月27日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
地域保健担当理事 長谷川太郎

令和3年8月11日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者への対応及び被災者に係る被保険者証の提示等について

神奈川県医師会を通じて通知がまいりましたのでお知らせいたします。

日本医師会常任理事

江澤 和彦

(公印省略)

令和3年8月11日からの大雨による災害により

被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について

(その2)

令和3年8月11日からの大雨による災害により、別添のとおり、広島県、福岡県、佐賀県、島根県の一部地域に加え、長野県、長崎県の一部地域において災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用されたため、厚生労働省より各都道府県介護保険主管部局あてに災害により被災した要介護高齢者等への対応に関する事務連絡が発出されました。災害救助法の適用を受けた場合における被災した要介護高齢者等への対応といたしましては、介護保険施設や居宅サービス事業所について、災害等による定員超過利用が認められていること、被災のため職員の確保が困難な場合においても減算を行わないこと、また利用者については利用者負担や保険料の減免を可能とする等、市町村に対し柔軟な対応が求められているところです。

また、被保険者証および負担割合証（以下、被保険者証等）を消失あるいは家屋に残したまま避難していることにより、介護保険事業所等に対して被保険者証等を提示できない場合等も考えられることから、厚生労働省より各都道府県介護保険担当主管部局に対し、この場合、氏名・住所・生年月日・負担割合を申し立てることにより、被保険者証等を提示した時と同様のサービスを受けられる取扱いとする旨の事務連絡が発出されましたので併せてご連絡申し上げます。

要介護認定等については、新規の要介護認定等の申請前にサービスを受けた被保険者に対しても、市町村の判断により特例居宅介護サービス費等を支給することができることや、要介護認定等の有効期間の満了前に更新申請をすることができない場合についても、要介護認定等の更新申請があったものと見なして引き続きサービス提供を行うことができる取扱いとする旨などが示されております。

なお、最新の災害救助法適用地域につきましては、内閣府のホームページよりご確認ください。また、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

(該当ページURL：http://www.bousai.go.jp/taisaku/kyuujo/kyuujo_tekiyou.html)